

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	適応都市検討小委員会	主 査 名：渡辺浩文 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：中村 勉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>気候変動適応は、社会変動への対策とともに取り組むべき喫緊の課題となっている。これら諸課題に能動的に対応する「適応都市」の概念整理を行い、特に都市域において将来に起こり得る様々な問題の対応策を取りまとめることを設置目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2015 年度：気候変動の情報収集と、都市・建築設計への影響についての検討 ・ 2016 年度：適応都市のプロトタイプ（基本的概念、環境設計上の留意等）検討 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：渡辺浩文（東北工大）、幹事：大岡龍三（東大）、飯塚悟（名大）、委員：竹林英樹（神大）、浅輪貴史（東京工大）、足永靖信（国総研）、近藤明（阪大）、成田健一（日工大）、鳴海大典（横国大）、萩島理（九大）、持田灯（東北大）、吉田伸治（福井大）	
設置 WG (WG 名：目的)	適応都市設計ガイドライン作成 WG：将来の気候変動・社会変容を踏まえ、それらに適応した都市の設計ガイドラインの作成を行う 気候変動モデリング WG：GCM の解析結果を RCM によりダウンスケールし、都市レベル問題に活用できる気象データの作成とその活用法について検討する	
2015 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 気候変動による災害防止に関する特別調査委員会成果や世界各都市の適応都市戦略の実態調査を実施し、特に暑熱化や都市域集中豪雨を優先的課題として議論を行うこととした。 2. 都市レベルの様々な環境・災害問題に活用できる気象データの作成法・分析方針と、それらデータの活用方法を、検討した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 気候変動の直接的現象は暑熱化・豪雨に限らず突風や高潮等広範に及ぶが、土木工学分野に比較し、建築学分野における適応策検討は必ずしも十分でない。 2. 建築分野の適応策検討のための基礎資料整備そのものが検討課題であり、丁寧な議論と作業が不可欠である。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。